



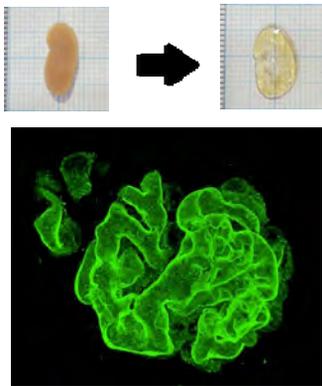
当研究室では、慢性腎臓病の進行を予測する新しいバイオマーカーの開発と新規治療薬の創出を目指した研究や、透明化技術と3次元再構成を用いた新しい腎組織の評価法の検討を行っています。臨床研究では、慢性腎臓病の患者教育やリハビリテーションの効果、透析患者さんの診療補助システムの開発をAI医学教室と共同で研究を行っています。腎臓以外にも遺伝性血管性浮腫という疾患の基礎・臨床研究を行っています。



腎組織の透明化の研究

組織を透明化し染色を行う事で糸球体を3次元で構成できる

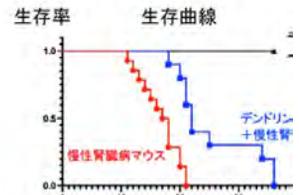
透明化を使用した新しい腎生検診断法を開発中！



PNAS Nexusに掲載されました (2024)

ポドサイトスリット膜関連の研究

糸球体足突起に発現するデンドリンの核移行抑制が腎臓病進行を遅らせることを発見！



アメリカ腎臓学会誌 (IF16.8) に掲載されました (2023)

腎不全の進行を抑制する薬剤の開発を目標としています！

ここに記載した他にも、いろいろな研究領域があります

- ・オートファジー関連の研究
- ・腎不全患者の腸内細菌叢の研究
- ・患者教育・リハビリテーション)に関する研究
- ・遺伝性血管性浮腫の基礎と臨床

ポドサイトの蛋白分解に関する研究

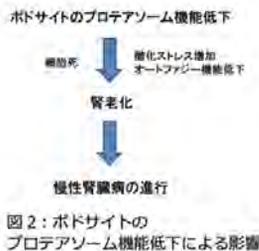
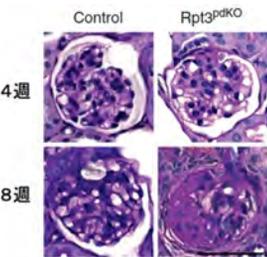
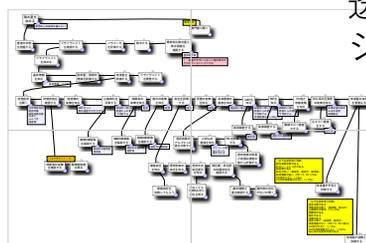


図2: ポドサイトのプロテアソーム機能低下による影響

アメリカ腎臓学会誌 (IF16.8) に掲載されました (2021)

AIによる血液透析支援システムの開発



透析診療を補助するシステムの開発を目指しています！

BMC Nephrologyに掲載されました (2023)

腎臓病に興味のある方は気軽にご連絡ください！

千葉大学大学院医学研究院 腎臓内科研究室
若林華恵(わかばやしはなえ):医局長
内線: 5085
E-mail:hawakaba(ここにアットマーク)chiba-u.jp